

「家庭ごみ有料化制度（見直し素案）」に関するパブリック コメント（市民意見公募制度）の結果について 【概要版】

1. 概要

- (1) 募集期間 平成29年9月15日（金）～10月16日（月）
(2) 意見提出数 70件（27人）
- ・電子申請 （16人）
 - ・ファクス （4人）
 - ・郵送、窓口 （7人）

※ 提出された意見の中には、複数の項目について意見が述べられているものもあつたことから内容により細分化した結果、延べ70件となりました。

2. 主な意見

(1) 目的・必要性に関すること 17件

- 見直し素案の内容については全面的に賛成いたします。
- 家庭ごみ袋有料化が定着したように思います。
- 今後も継続することを希望します。
- 家庭ごみ有料化は分別・リサイクルの強化と並行して行われており、有料化による減量効果のみを厳密に評価することはできない。
- ごみ処理について政策が何を重視してどのような選択を行うか、まともに検討されていないのでは。

(2) ボランティアごみに関すること 4件

- ボランティアごみに対する支援策について、良いと思います。公園とかの草刈に対し、ごみ袋は足りてない状態です。

(3) 指定ごみ袋に関すること 5件

- ごみ袋の強度が弱い為、もう少し強くして頂きたい。
- 沼津市では、市から指定を受ければ、コンビニ等のレジ袋がそのまま市の指定ごみ袋として使えるそうです。ぜひ参考にしてほしい。

(4) 手数料額に関すること 2件

- 市民の負担軽減と交換に値上げを検討すべきと思います。
- 指定ごみ袋手数料について、この単価でよいと思います。

(5) 負担軽減措置に関すること 1件

- 負担軽減措置、良いと思います。

(6) 収入の使途に関すること 16件

- 資源プラの仕分けを機械化して、ごみ捨て分類を単純化出来ないでしょうか。
- ごみネットをカラスに荒らされないため鎖等を織り込み多少重くする対策案も対策として有効でも高齢者にはネットが重くて困る等の意見で実施できない状況です。
- ごみステーションで網をくちばしでくわえてのカラスの襲撃、これを何とかしたい。
- ごみステーション設置等補助事業、良いと思います。
- 十分な水切りが出来ていないと思います。生ごみを焼却するにはどのくらいの燃料費がかかるかわかりませんが、検討する価値があると思います。

(7) 不法投棄に関すること 2件

- 分別などを面倒と感じる人が山河やコンビニ・スーパーなどのごみ箱に捨てる行為を誘発する。

(8) 不適正排出に関すること 15件

- 資源ごみ、特にプラスチックでの理解不足から収集されないごみが必ずあります。
- ルール違反（分別誤り、ごみ出し日誤りなど）ですが、悪意で違反をしているとは思えません。高齢者にとっては、現行の分別基準はすこし酷だと思えます。
- 障害者・高齢者には分別のマークも見づらいし、ごみ出しに様々な困難を抱えている。
- 清掃指導員との打ち合わせなどの定期開催

(9) 野外焼却に関すること 2件

- 有料化になったため庭でごみを燃やす人を多く見かける。有料化で得たお金を野外焼却の取り締まりに使うべきだ。

(10) その他 6件

- 住民への周知に関するご意見 など。

3. まとめ

パブリックコメントにより市民の皆様から、家庭ごみ有料化は定着したように思うというご意見をはじめ制度について継続することを希望するなど、制度に対する賛成のご意見をいただくなか、収入の使途に関すること、不適正排出に関することについて多くのご意見をいただきました。

今後はこれらのご意見を踏まえ、家庭ごみ有料化制度の検証・検討を行っていきたいと考えます。